

“結愛” ~ゆい~

『職員紹介』

前回、白倉主任より職員紹介のバトンを頂いた、訪問リハビリテーション室 小林です。今回、私が紹介する職員は通所リハビリテーション室 作業療法士 長田麻由美さんです。長田さん？と聞いて顔と名前が一致する方は少ないのではないのでしょうか。数年前は病院内の作業療法室で働いていた「大塚」なら聞き覚えがある人もいるかもしれません。出身は山陰地方の鳥取県、砂丘育ちです。結婚し妻となり、3歳児の母となり、昨年より通所リハビリテーション室に戻ってきてくれました。ここ数年、当院の通所リハビリは理学療法士が主に関わってきました。しかし、近年の通所リハビリでは、ご自宅での生活を意識した生活行為向上が大きく求められるようになってきました。そこで、大きな力になってくれる長田さんも含めたスタッフ一同を頼りにして頂き、充実感のある在宅生活を過ごしてください。



『利用者様の声』

今回、通所リハビリテーションを利用しているT様より感想を頂きました。T様は2年前に自宅の石垣から転落され、膝のお皿を骨折し手術を受けました。現在は1本杖を使用して歩く練習をしています。「リハビリをして2本杖で歩けるようになったけど、家の中だと両手が塞がってお客さんにお茶も出せなかった。今では、通所で1本杖の練習をしたおかげで家の中を1本杖で歩けるようになり、お茶が出せるようになった。友達がたくさんできて来所するのが楽しみ。」と笑顔で話してくれました。色塗りのセンスは抜群で、集中力は欠きません。お昼前には、役割の一つとしてお絞りを配っていただいています。今後は、押し車で安全に歩け、外出出来る事が目標です。

通所リハビリテーション室 津金光平



『作業療法士とは』

作業療法士とは、Occupational Therapist【オキュペーショナルセラピスト:略OT】とも呼ばれます。作業療法士の【作業】とは、入浴や食事など日常生活動作や、洗濯、料理、手工芸、園芸及びレクリエーションまで、人の日常に関わるすべての諸動作のことを言います。身体や精神の障害により日々の生活に支障が生じてしまった方が快適に自分らしく生きていけるよう、これらの作業活動を通して身体と心のリハビリテーションを行います。社会生活への適応や認知や意欲など精神面のサポートや生活機能の改善を目指し、仕事、趣味、遊びなど、元気な日常生活を送ってもらうお手伝いをします。



クッキー作り